

メタデータ管理の概要

Almaリポジトリには、書誌レコード、典拠レコード、目録レコード (冊子資料の所蔵とアイテム、電子リソースのポートフォリオ、デジタル表記とファイル) を含むメタデータレコードが含まれています。メタデータレコードは、次の3つのゾーンのいずれかに属します。

- 機関ゾーン
- コミュニティゾーン
- ネットワークゾーン

機関ゾーンは、Almaによる基本レベルのデータとワークフロー管理であり、レコードは機関によって管理されます。機関は、目録レコードをコミュニティゾーンまたはネットワークゾーンのメタデータレコードにリンクできます。どちらを使用しても、これらのレコードをローカル目録にダウンロードする必要はありません。さらに機関は、共有目録 (コミュニティまたはネットワーク) からローカルの機関ゾーン目録に目録レコードをコピー (またはダウンロード) できます。

コミュニティゾーンは、次の3つの要素で構成されています。

- セントラルナレッジベース (CKB)。これはベンダーが提供する電子リソースを説明するもので、Ex Librisによって管理されます。

コレクション、ポートフォリオ、書誌データに関する統計については、[こちら](#)をクリックしてください。

CKBの詳細については、[セントラルナレッジベース \(CKC\)](#) を参照してください。

- 関連する認可機関と同期されるグローバル典拠カタログ。これにより、個々の機関は、典拠ファイル自体の同期にローカルリソースを投資することなく、典拠コントロールの利点にアクセスできます。Almaが管理する典拠単語については、[典拠レコードの操作](#)を参照してください。
- レコードのコミュニティ目録。この目録は、すべてのAlma機関のための記述レコードのソースとして機能し、図書館が共同メタデータ管理環境で直接操作できるようにします。機関は所蔵をコミュニティレコードに直接添付したり、コミュニティレコードをローカル目録にコピーしたり、コミュニティレコードを編集およびアップデートしたりできます。また、無料の電子ジャーナル、その他の電子ジャーナルおよび米国政府文書等のポートフォリオをコレクションに追加することもできます。コミュニティ目録への投稿については、[コミュニティゾーンへの投稿ガイドライン](#)をご覧ください。

ネットワークゾーンは、ネットワークゾーンと連携する共同ネットワークに共有レコード目録を提供します。ネットワークゾーンの操作の詳細については、[ネットワークゾーン](#)を使用した複数機関を管理するを参照してください。特に、[ネットワークゾーンのネットワーク管理レコードと共同ネットワークでのリポジトリ検索](#)を参照してください。

Almaでサポートされているメタデータスキーマや目録フォーマットの詳細については、[フォーマットのサポートや規格](#)を参照してください。

Almaのさまざまなタイプの資源 (冊子、電子、デジタル) については、[Alma目録の概要](#)を参照してください。

メタデータエディター (またはMDエディター) を使用して、Almaでメタデータレコードを直接管理することができます。MDエディターの使用を開始するには、[新しいメタデータエディターページのナビゲート](#)を参照してください。